

2020年12月期 決算補足説明資料

一般家庭用の非常用貯水機能付き給水管
『マルチアqua』は2タイプ

マルチアqua S-1 (36L) マルチアqua S-2 (60L)

ペットボトル18本分の大容量 ペットボトル30本分でさらに大容量

aquarreserve
「水」と共に災害の先の
「安心」を提供する

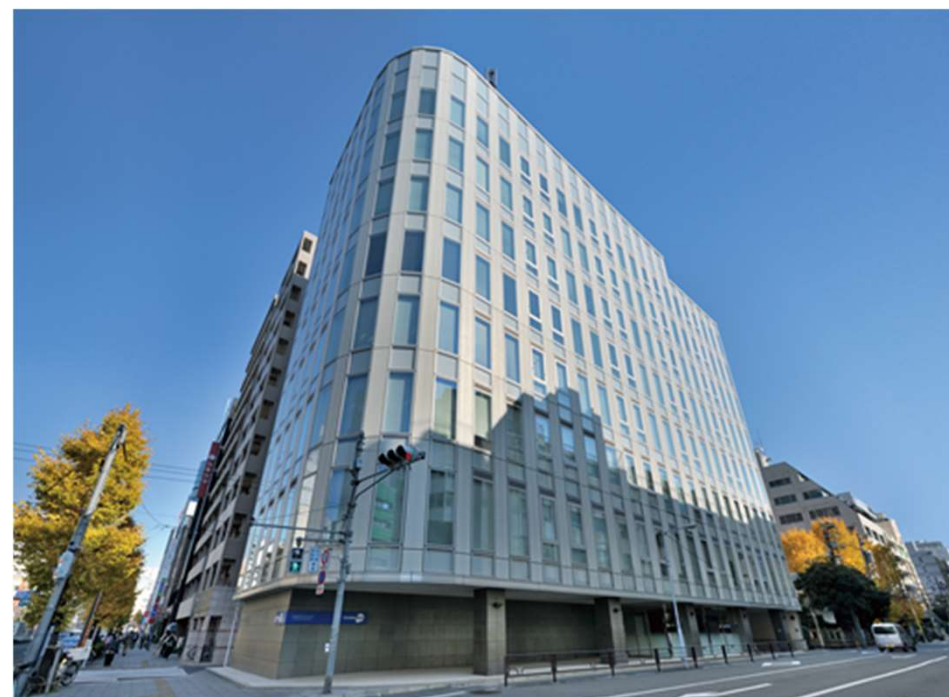
大容量貯水タンクシステム
Multi Aqua
マルチアqua

証券コード:3449

- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2016年～2018年決算期は、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書及び連結計算書類を作成していないため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成した連結財務諸表の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2016年～2017年決算期の数値は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)の適用前の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2020年第2四半期から、事業セグメントの名称のみを下記の通り変更しておりますが、各セグメントの事業内容に変更はございません。

変更前		変更後
管継手事業	→	継手事業
管継手関連事業	→	防災・工事事業
金属塑性加工事業	→	自動車・ロボット事業
介護事業	変更なし	介護事業

1. 2020年12月期 決算概要
2. 2021年12月期 業績予想
3. TOPICS



1. 2020年12月期 決算概要

2020年12月期 業績SUMMARY 連結業績

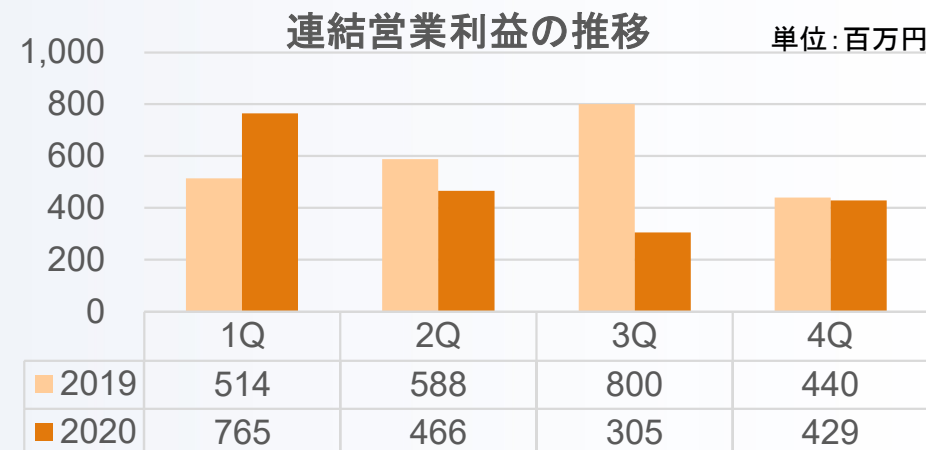
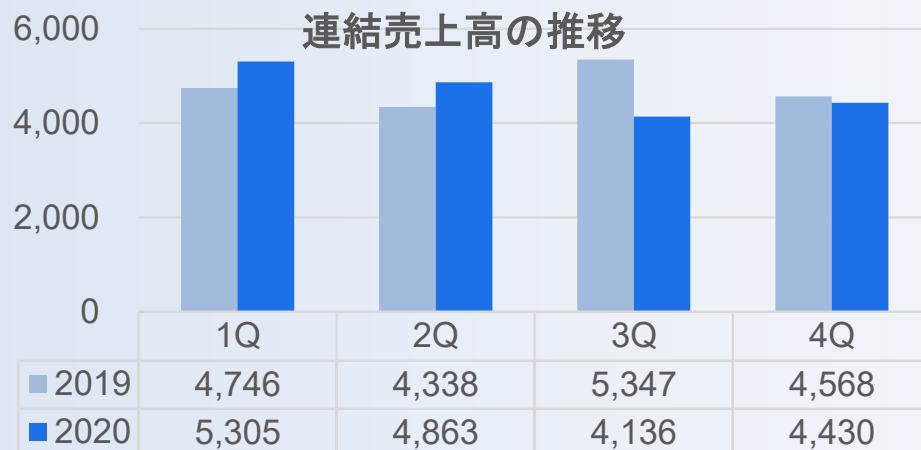


◆ 連結業績

- 当期は、民間事業や公共投資の下支えがあるものの、コロナ禍で非常に厳しい事業環境でありました。その結果、当社グループの2020年12月期業績は、下記の通りとなりました。連結業績予想(2020年11月26日修正)は達成いたしました。前期中では、売上が前期並み(微減)、利益は、消防設備工事(防災・工事セグメント)におけるオリンピック・パラリンピック(以下、「オリンピック等」といいます。)の特需終了と一部の不採算案件の影響等により、減少いたしました。

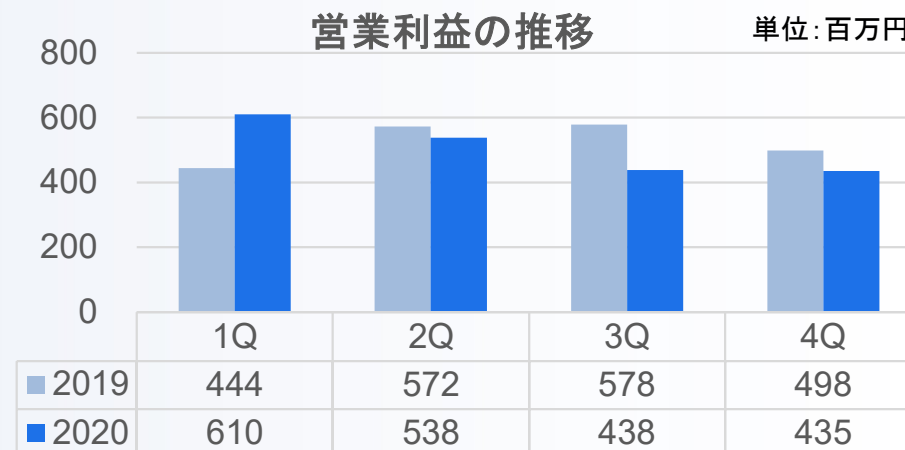
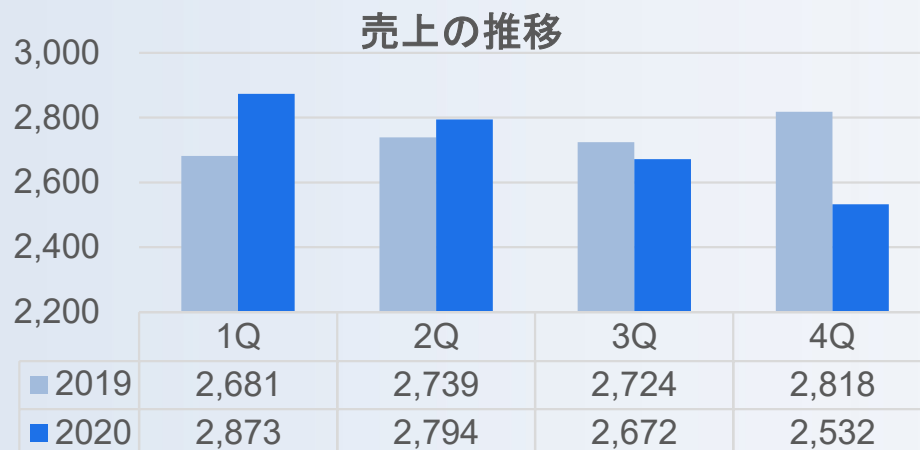
単位:百万円

	当期実績	当期業績予想 (達成率)	前期実績 (前期比)
連結売上高	18,734	18,700 (100.2%)	18,999 (1.4%減)
連結営業利益	1,965	1,900 (103.4%)	2,342 (16.1%減)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,205	1,100 (109.5%)	1,696 (29.0%減)



※ 当社グループは、2020年11月26日付で、業績予想を下方修正しております。

◆ 継手事業(旧 管継手事業)

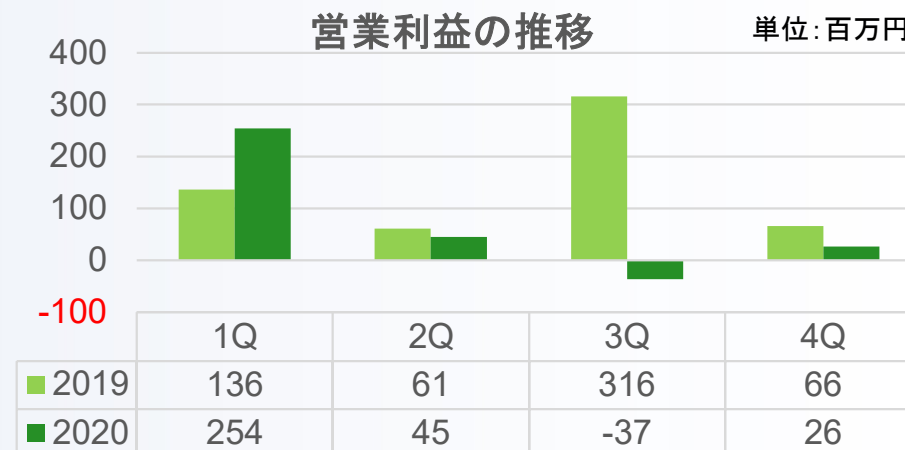
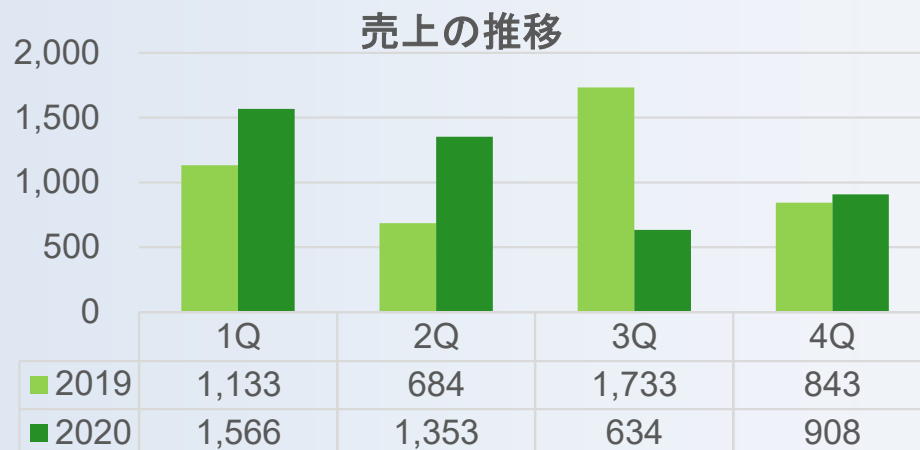


- 通期業績は、売上高10,871百万円(前期比0.8%減)、営業利益2,021百万円(前期比3.4%減)となりました。
- 半導体メモリーの製造メーカー様が設備投資を開始され、真空機器の売上が、特に1Qから2Qに掛けて増加しました。真空機器は利益率が高いことから、営業利益にも寄与しています。3Qは端境期となりましたが、4Qから新たな工事が開始され現在も継続しております。しかしながら、着工の遅れから、当該工事の2020年12月期の業績への寄与は、限定的となりました。
- フレキシブル継手は、2Qから新型コロナウイルスの影響を受け、3Qからはオリンピック等の特需の反動もあり、売上が減少しました。4Qには、予定されていたSDF工法による老朽化した水道管の更新工事が、2021年2Q以降に延期となり、このことも当期業績にマイナスの影響を及ぼしました。

2020年12月期 業績SUMMARY 防災・工事事業



◆ 防災・工事事業(旧 管継手関連事業)

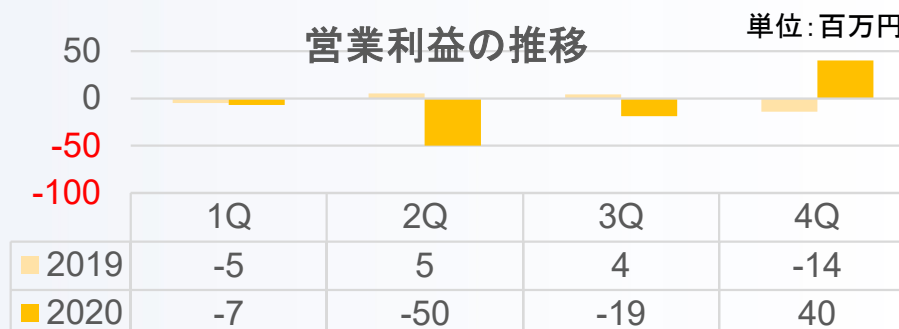
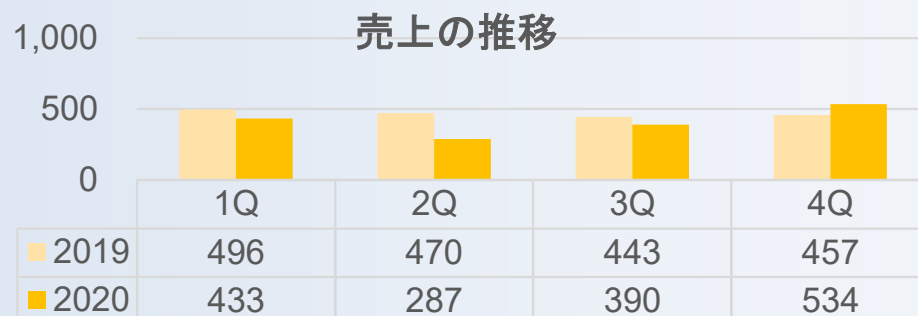


- 通期業績は、売上高**4,461百万円**(前期比1.5%増)、営業利益**288百万円**(前期比50.2%減)となりました。
- 消防設備工事は、大型案件の計上によって、売上が大きく変動する傾向があります。また、利益率が案件ごとに異なることから、期中に計上した大型案件の利益率によって、当該四半期の利益率が大きく変動いたします。当期は、オリンピック等の特需の最期にあたる2Qまでは好調でしたが、3Qはオリンピック等の特需の反動により売上、利益ともに減少しました。4Qは、3Q比で売上増加となりましたが、期中に計上予定であった大型案件の工事遅延により頭打ちとなりました。尚、当該大型案件は、2021年12月期に計上される見込みです。
- 防災用貯水タンクは、大手住宅メーカーとの提携により、戸建住宅向けの小型製品の販売数量が増加しましたが、避難所や企業のBCP向けの大型製品は減少しました。
また、大手住宅メーカーの提携先増加に努めると共に、市場のニーズを捉えた小型の新製品の開発にも取り組みました。

2020年12月期 業績SUMMARY 自動車・ロボット事業、介護事業

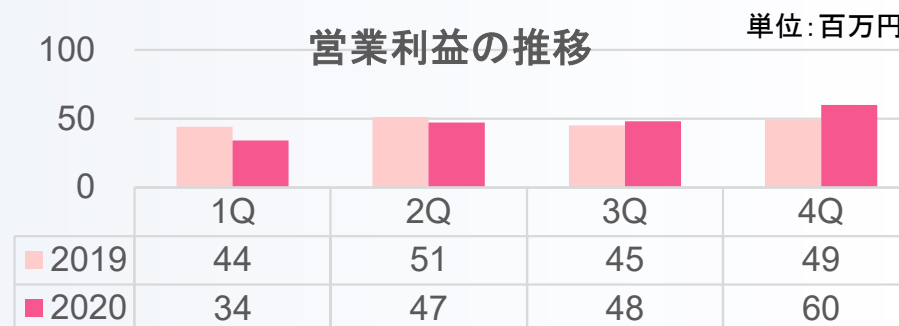
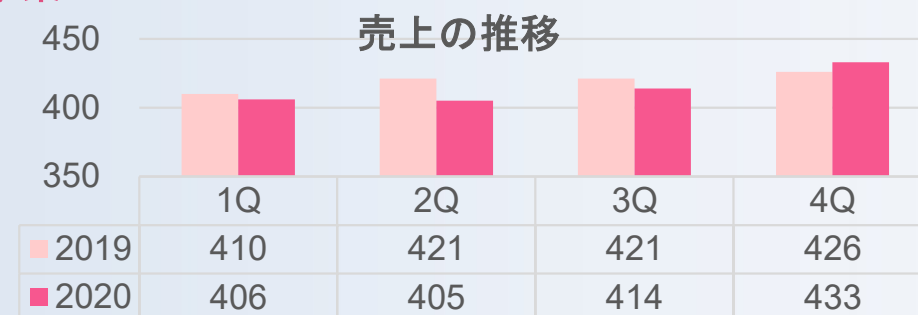


◆ 自動車・ロボット事業(旧 金属塑性加工事業)



- 通期業績は、売上高1,644百万円(前期比11.9%減)、営業損失36百万円(26百万円損失増加)となりました。
- 通商問題の影響により、前期から市場が減速した事業環境でありましたが、当期は、新型コロナウイルスの影響を受け、2Qには自動車向け部品の工場を1ヶ月停止する等、更に厳しさを増した事業年度となりました。
- 現在は、中国等の自動車需要の拡大により、回復基調にあります。4Qは、2019年3Q以来の黒字となりました。

◆ 介護事業

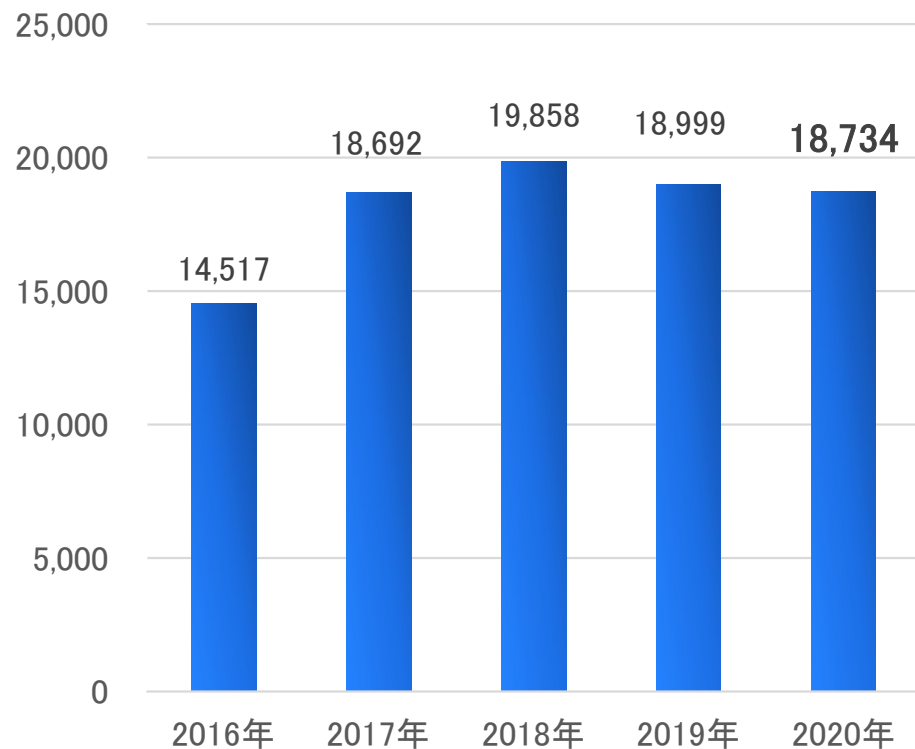


- 通期業績は、売上高1,658百万円(前期比1.2%減)、営業利益189百万円(前期比0.1%減)となりました。
- 新型コロナウイルスの影響により、新規顧客開拓に苦戦しました。そのため、介護用品の販売や住宅リフォームの売上が減少しましたが、介護用品のレンタルは継続契約に支えられ、介護事業全体では微減ながらも底堅い推移となりました。

連結業績の推移

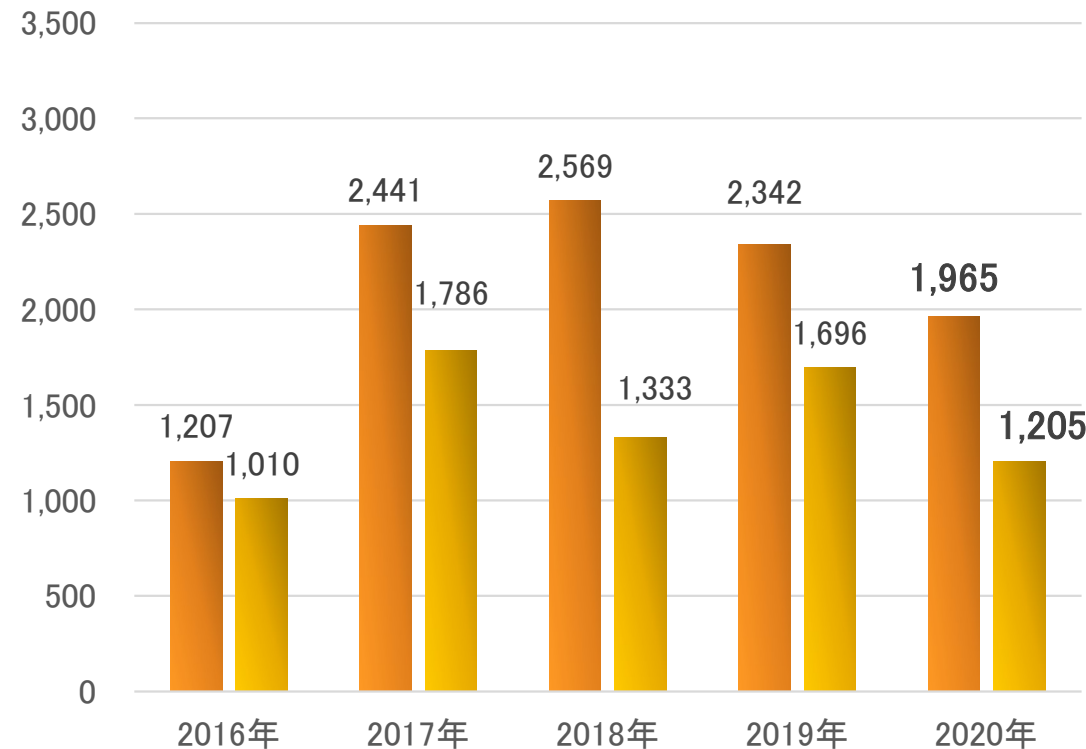


単位:百万円



前期比	
売上高	1.4%減

単位:百万円

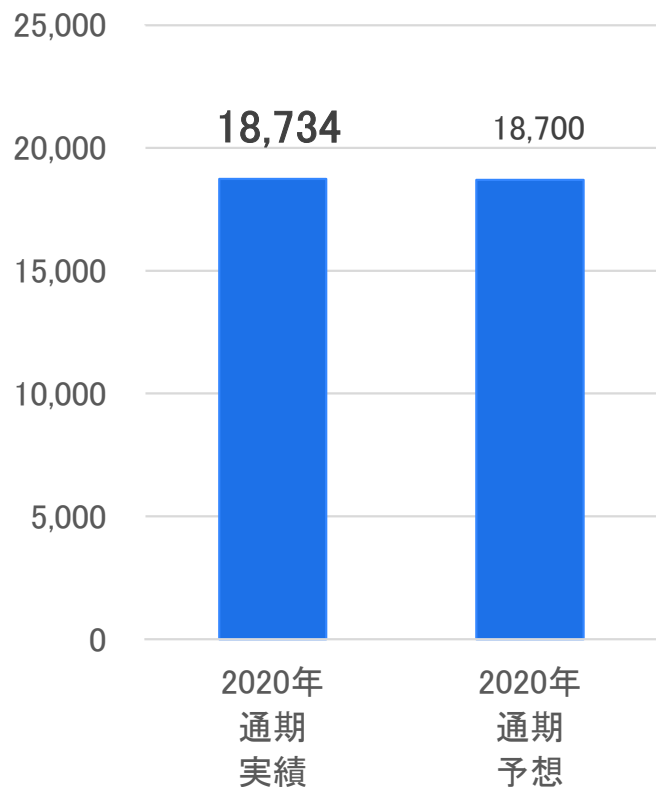


前期比	
営業利益	16.1%減
親会社株主に帰属する当期純利益	29.0%減

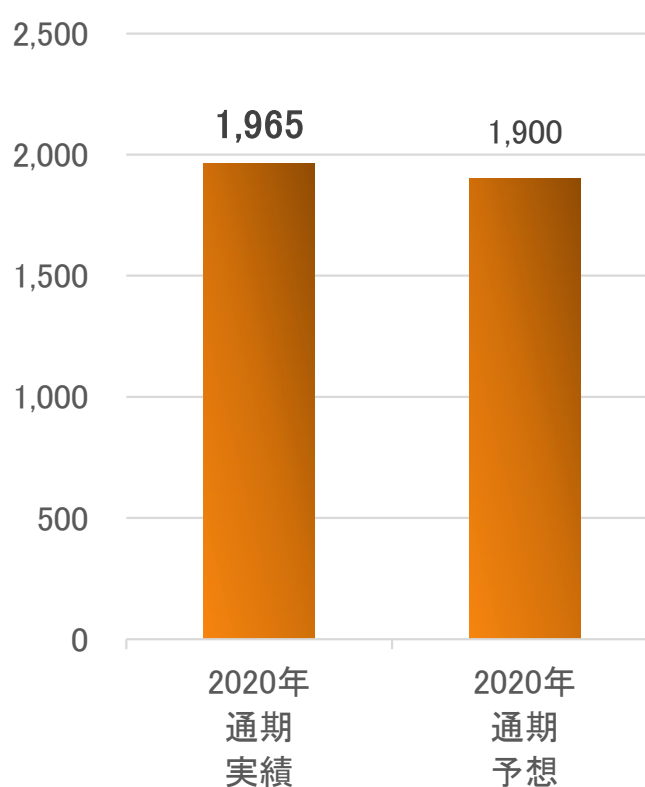
当期連結業績予想比



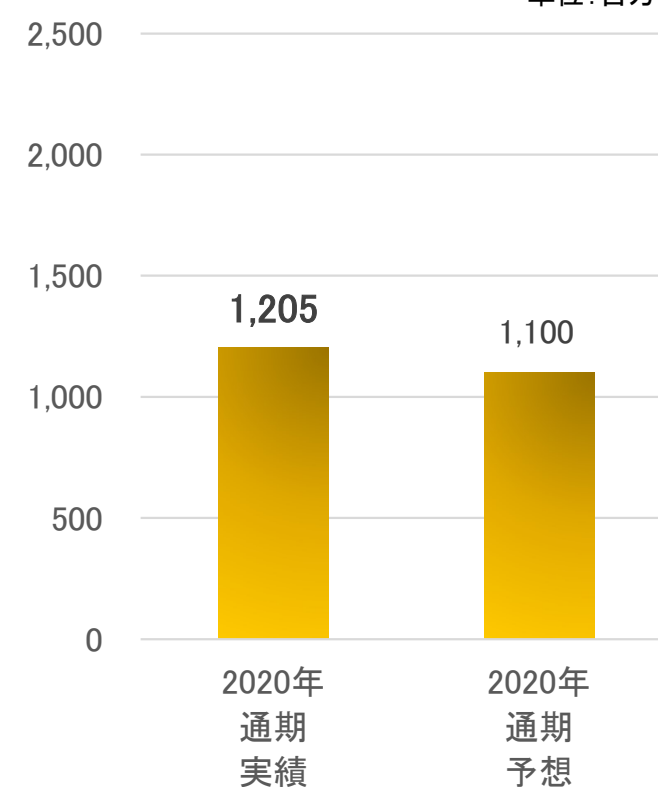
単位：百万円



売上高	
達成率	100.2%



営業利益	
達成率	103.4%



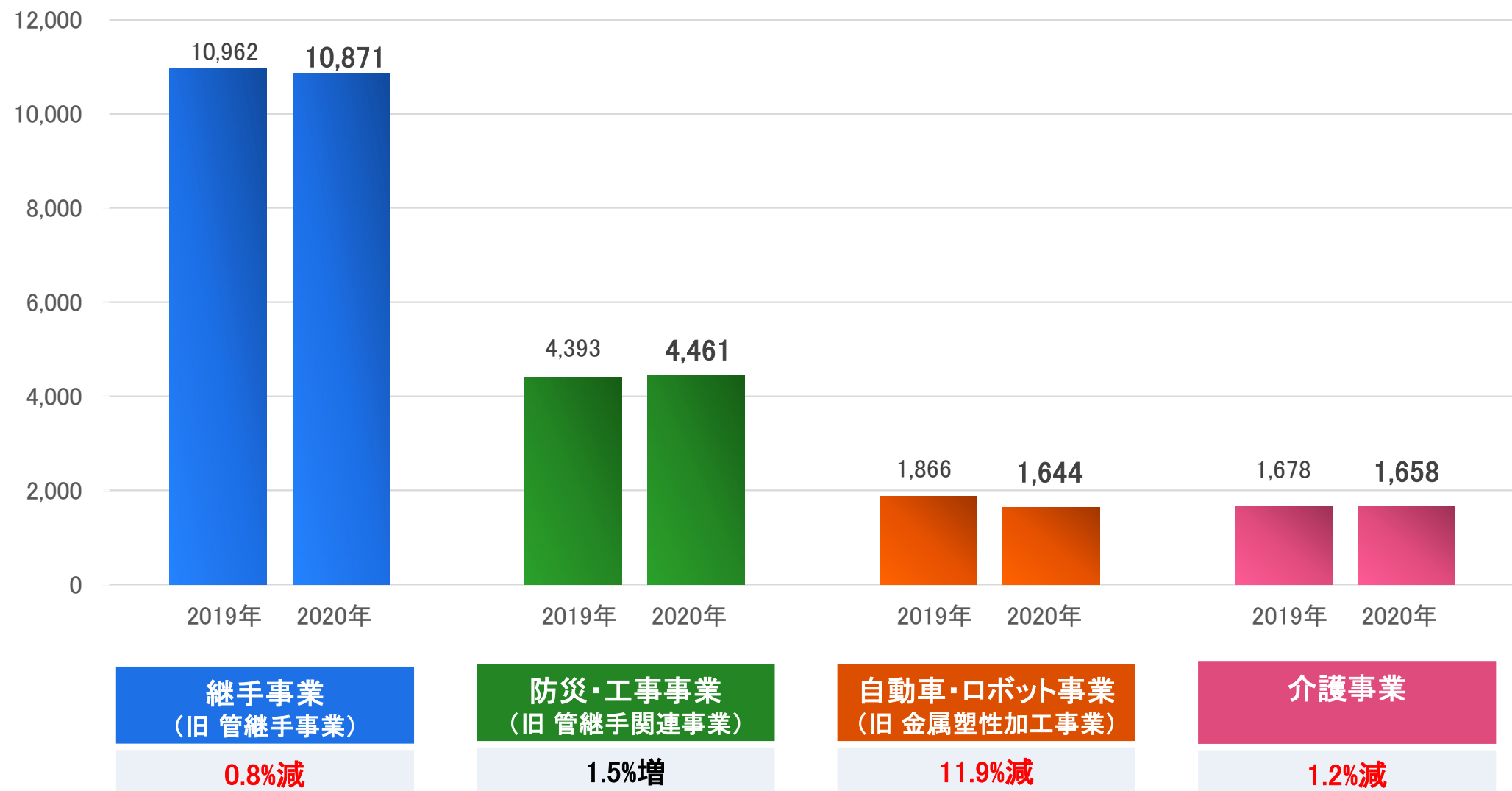
親会社株主に帰属する 当期純利益	
達成率	109.5%

✓ 当社は、2020年11月26日付けで、2020年12月期の連結業績予想を下方修正しております。

セグメントごとの前期比【売上高】



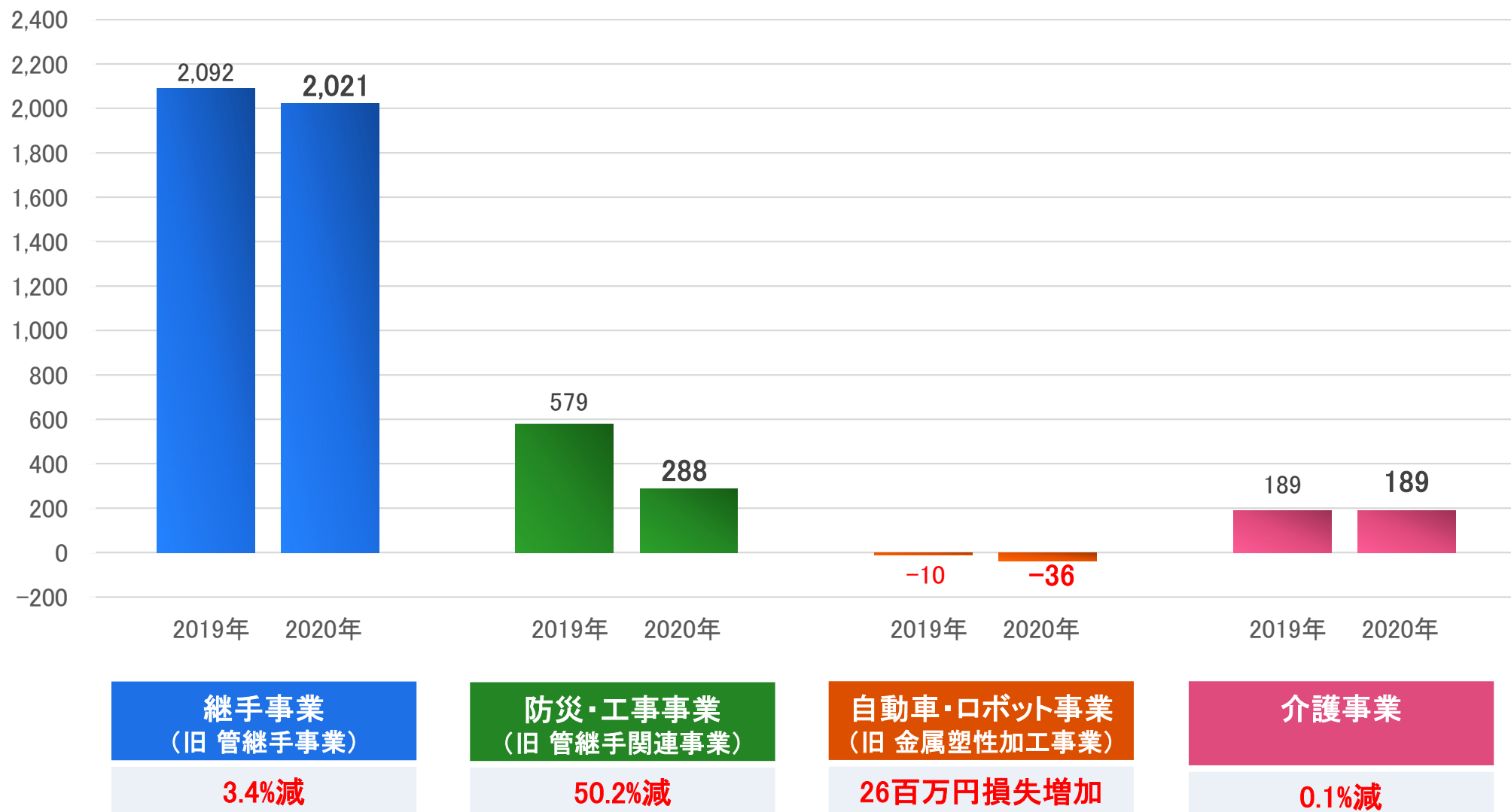
単位:百万円



セグメントごとの前期比【営業利益】



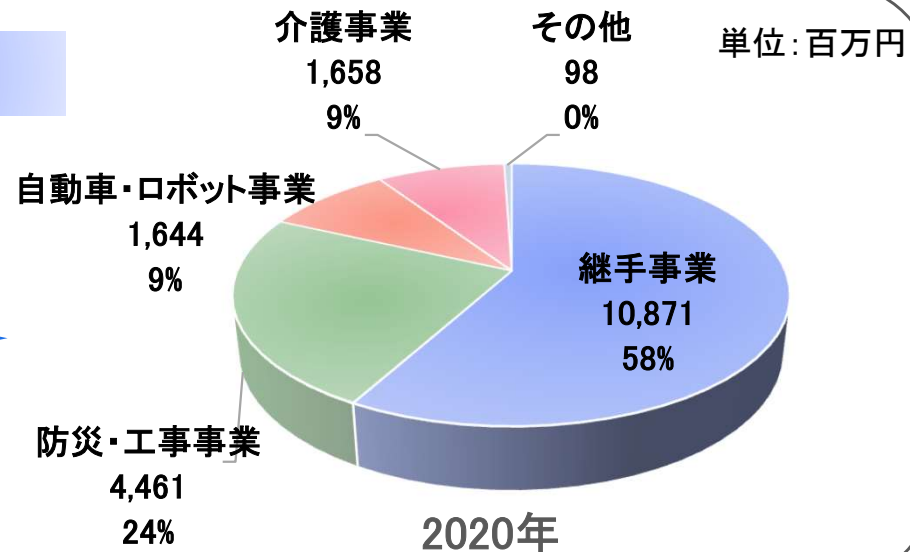
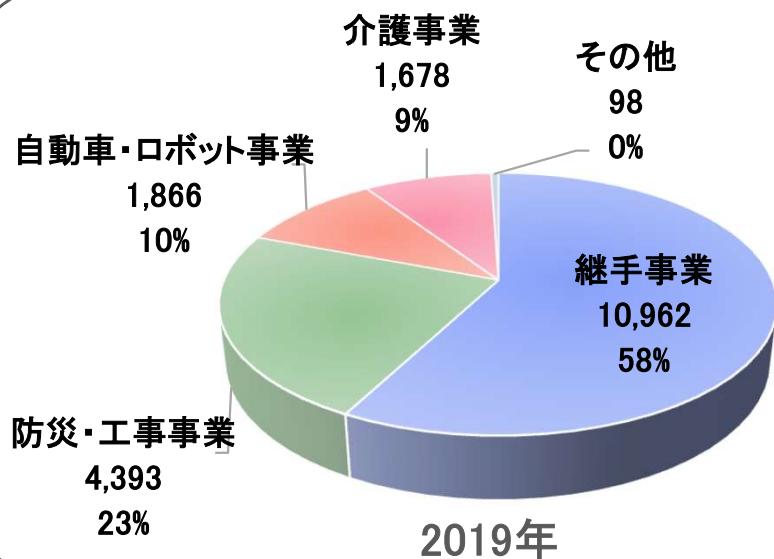
単位:百万円



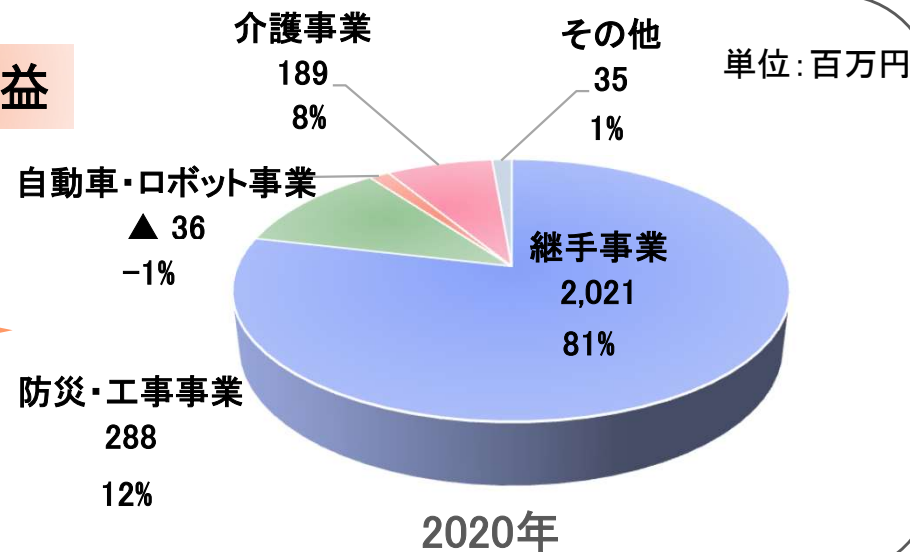
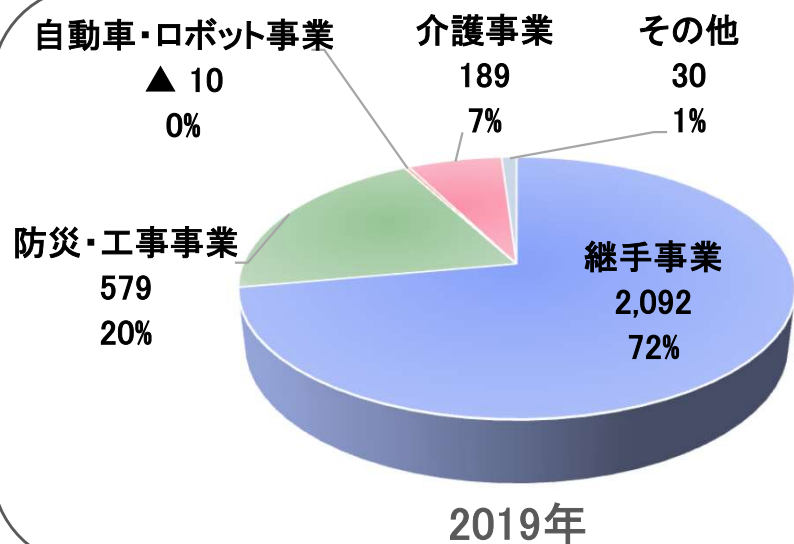
セグメント構成比



売上高



セグメント利益



連結貸借対照表(抜粋)



	2019年		2020年		(単位:百万円) 前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産合計	14,710	51.4%	13,135	49.6%	▲1,575
固定資産合計	13,902	48.6%	13,362	50.4%	▲540
資産合計	28,612	100.0%	26,497	100.0%	▲2,115
負債合計	9,926	34.7%	7,515	28.4%	▲2,411
純資産合計	18,686	65.3%	18,982	71.6%	296
負債純資産合計	28,612	100.0%	26,497	100.0%	▲2,115

(主な要因) 流動資産 : 未成工事支出金 ▲1,148、受取手形及び売掛金 ▲595
 固定資産 : 関係会社出資金 ▲827
 負債 : 未成工事受入金 ▲1,309、買掛金 ▲257、長期借入金 ▲481、
 純資産 : 親会社株主に帰属する四半期純利益 +1,205、配当金 ▲801

連結損益計算書(抜粋)



	2019年	2020年	前連結会計年度比 (増減額／増減率)	
売上高	18,999	18,734	▲265	▲1.4%
売上原価	12,257	12,421	163	1.3%
売上総利益	6,741	6,312	▲429	▲6.4%
販売費及び一般管理費	4,399	4,347	▲51	▲1.2%
営業利益	2,342	1,965	▲378	▲16.1%
経常利益	2,437	1,929	▲508	▲20.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,696	1,205	▲491	▲29.0%

(主な要因)

継手事業 : 半導体関連の設備需要の伸びにより真空機器の売上は増加するも、継手事業全体の主に商品原価の増加が減益要因となる。

防災・工事事業: 売上は堅調に推移するも、工事原価の増加により大幅な減益となる。

自動車・ロボット事業: 産業機器等部品、輸送機器部品ともに売上が減収となる。

2. 2021年12月期 業績予想

2021年12月期連結業績予想 SUMMARY



◆ 連結業績予想

	2Q累計		通期	
	2020年 業績	2021年 予想	2020年 業績	2021年 予想
連結売上高	10,168	9,200 (9.5%減)	18,734	19,200 (2.4%増)
連結営業利益	1,231	1,150 (6.6%減)	1,965	2,450 (24.7%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	764	700 (8.4%減)	1,205	1,500 (24.4%増)

- 新型コロナウイルスの影響が、ワクチンの普及等により次第に軽減されるとの予想と、オリンピック等の予定されていた期間後に開始された首都圏の大規模再開発において、消防設備工事が施工されるのが下期以降との予想から、下期の比率を高めた予想としております。
- 2020年上期は、国内の半導体メモリー製造メーカー様の設備投資が集中したため、売上・利益ともに極端な増加を見せました。2021年上期は、現時点では2020年上期のようなスケジュールではないことから、合理的な予想の結果、前年上期比で減収・減益の予想となりました。
- 2021年通期予想では、利益が前期比で大きく増加しておりますが、これは2020年下期に、利益率の低い案件が重なったことや、為替差損が発生したこと等の、特別な利益減少要因が発生していたことを勘案していることによります。

◆ 継手事業(旧 管継手事業)

- 上期は、新型コロナウイルスやオリンピック等の特需の反動が引き続き影響し、厳しい事業環境となるものと予想されます。
- 下期は、上記の影響が軽減されるに連れ各事業の業績が回復し、真空機器の伸長が業績に表れてくるものと予想されます。

◆ 防災・工事事業(旧 管継手関連事業)

- 消防設備工事では、上期は、オリンピック等の特需の反動による影響が残り、軟調に推移するものと予想されますが、下期は、その影響も軽減され、2020年の秋以降に開始された首都圏の大規模再開発が、消防設備工事の施工時期を迎えることから、業績の回復を期待しております。
- 防災用貯水タンクでは、小型の新製品を上市いたします。これにより大手住宅メーカーとの提携が加速し、販売数量の増加を見込んでおります。

◆ 自動車・ロボット事業(旧 金属塑性加工事業)

- 新型コロナウイルスの影響は2020年2Qが最も大きく、2020年期末には概ね業績が回復していることから、2021年は前期比プラスを予想しております。但し、通商問題の先行きは不透明でありますので、注視して参ります。

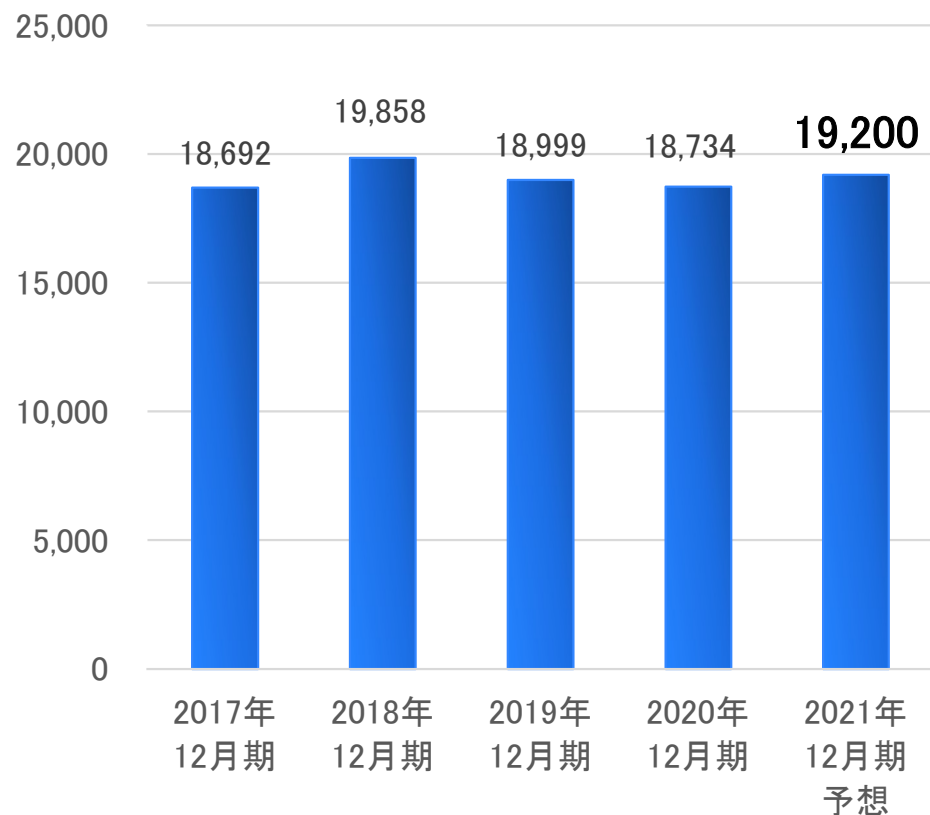
◆ 介護事業

- 介護用品のレンタルは、安定的に推移する見込みです。
- 2021年12月期は、介護用品の販売にも努めて参ります。当社が持つ海外調達ノウハウを活用し、国内では普及していない海外の優れた商品を仕入れ、安価でご提供することで、福祉社会の発展に尽力して参ります。

2021年12月期通期連結業績予想

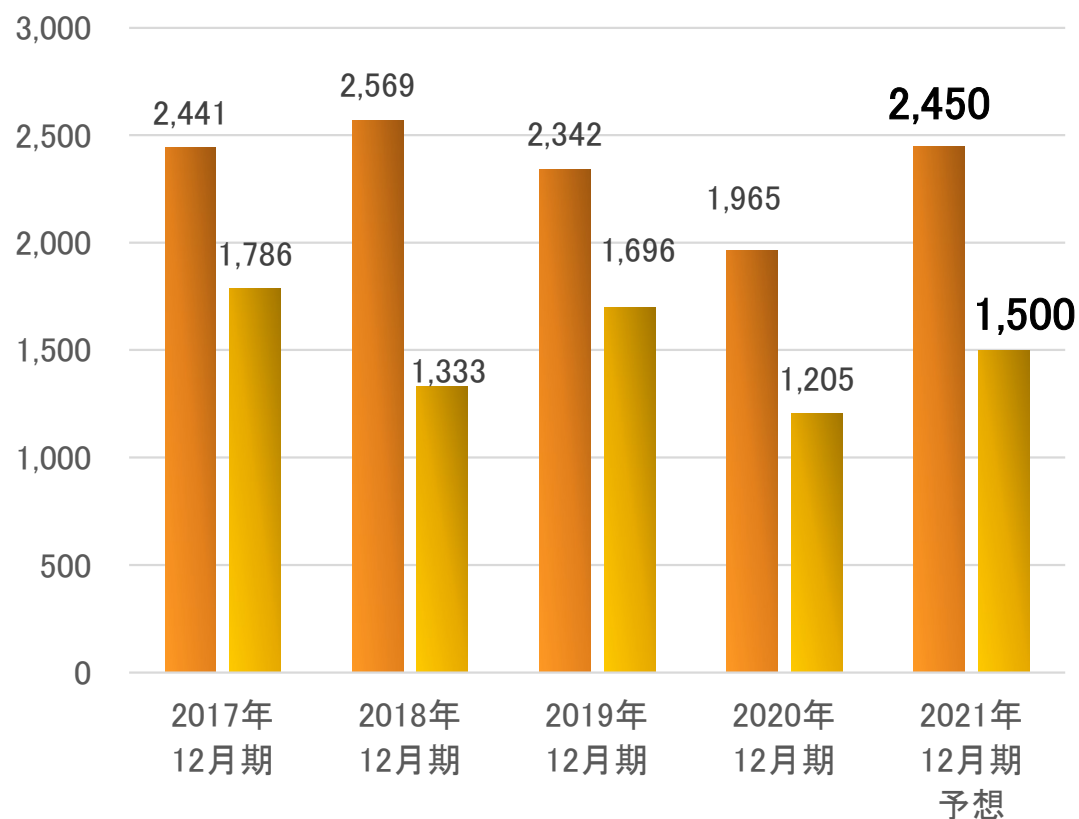


単位:百万円



前期比	
売上高	2.4%増

単位:百万円



前期比	
営業利益	24.7%増
親会社株主に帰属する当期純利益	24.4%増

3. TOPICS

- ◆ グループ会社の株式会社アクアリザーブ社は、災害時の水を確保する貯水タンク「マルチアクア」の新製品「TypeS」(S-1、S-2)を販売開始いたしました。

- 災害による『断水』発生時、ただちに逼迫する飲用水、衛生水。『マルチアクア』は生命維持のために必要とされる『水』の確保という差し迫る問題を解決し、支援の手が届くまでの家族の安心を守ります。
- 平常時、水道水を使うたびにタンク内の水が新しい水に入れ替わる仕組みで、ひとたび断水が起こったその瞬間から7日間飲用の水質基準を維持します。
- S-1タイプで36L、S-2タイプで60Lの大容量。2Lのペットボトルに換算すると、18本分、30本文の備蓄水の入れ替えの手間が省け、保管場所を気にする必要もありません。更にはプラスチックごみ削減効果もあり、環境問題にも貢献します。
- 材質はステンレスで、腐食、汚れへの耐性および衛生水準の高さでも信頼にお応えします。



大容量貯水タンクシステム
Multi Aqua
マルチアクア

- ◆ マルチアクアTypeSは、大手住宅メーカーとのタイアップにより、市場のニーズを捉え開発した製品です。
- ◆ 環境にやさしい製品開発を通じて、当社グループは、持続可能な社会の実現を目指して参ります。

株式会社アクアリザーブ

● ホームページ <https://aquareserve.co.jp/>



床下に設置した例 20

- ◆ ドリーマーは介護保険でレンタルが可能な自動排泄処理装置です。
- ◆ 介護用オムツの様に装着するだけで、排泄物(尿・便)をセンサーが感知し「吸引・洗浄・乾燥・除湿」を全自動で行う排泄介護の新しいカタチを実現した介護ロボットです。
- ◆ 清潔で爽やかなトイレ環境を提供、オムツ交換の回数を減少させることができ、部屋の臭気も大幅に低減できます。
- ◆ また排泄物に含まれるコロナウイルスなどがエアロゾル感染で広がる可能性がある中で、汚物との接触が極力押さえられ、排泄介護の回数を減らすことの効果も大きいと考えられます。
- ◆ 対象は要介護4・5の方で、介護保険適用のレンタルでは自己負担2,500円(1割負担の場合)となります。付属品・消耗品は別料金です。
- ✓ 株式会社スペースケアは、海外の優れた介護用品を国内にご紹介し、安価でご提供する事業を開始いたしました。事業を通じて、福祉社会の発展に尽力して参ります。



株式会社スペースケア
● ホームページ <http://www.spacecare.co.jp/>



2020年12月期 決算説明動画のご案内



- ◆ 2020年12月期決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令されたことから、ご来場の皆様の健康と安全確保を第一と考え、開催を中止することといたしました。
- ◆ 代わりといたしまして、決算説明動画を配信いたしますので、ご案内申し上げます。

◆ 2020年12月期 決算説明動画の概要

- 配信予定 2021年2月26日(金)夕方から掲載予定
- 掲載場所 当社ホームページのIRニュース
- 説明者 代表取締役社長 前島 岳

- ◆ どなたでもご視聴いただけます。
アナリスト・機関投資家に限定したものではありません。

- ◆ ご視聴賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



当社ホームページ

- トップページ <https://www.technoflex.co.jp/>
- IRニュース <https://www.technoflex.co.jp/ir/news.html>

2020年12期



決算補足説明資料 - 完 -

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449